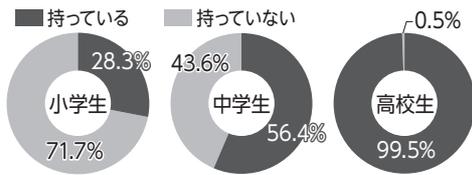


携帯電話を持っている子どもたちの割合

※スマートフォンを含む



〔携帯電話等の使用に関するアンケート調査〕(三重県教育委員会 平成23年11月実施)



ネットを悪用した人権侵害

ネットはさまざまな情報をやり取りして、コミュニケーションの輪を広げることができ、便利な道具です。一方、使い方を誤ったり、悪意を持って使ったりすると人権侵害につながります。

インターネット(以下「ネット」)は、私たちの生活に欠かせないものとなっており、人口普及率も約79%に達しています(総務省「平成23年通信利用動向調査」)。ネットでは、知りたい情報をボタン一つで手に入れられたり、自分の意見を広く世界へ発信したりすることが可能です。一方で、ネットを悪用した人権侵害が後を絶ちません。今号では、ネットを使った人権侵害について考えます。

人権・男女共同参画推進室 63・7909



携帯電話の普及 深刻化するネットいじめ

子どもたちへの携帯電話の普及を背景に、ネット上のいじめにより、大人たちの知らないところで深刻な被害に遭う子どもたちが増えています。特にネット上の掲示板や「学校裏サイト」などへの誹謗・中傷した書き込みなどが後を絶ちません。子どもたちを被害者や加害者にならないために、携帯電話を持たせる前に、①本当に必要かどうかを話し合みましょう。持たせるときは、②使用についてのルールを決めましょう。③フィルタリングサービスを利用しましょう。持たせた後も④携帯電話の利用を見守りましょう。

ネット上で人権侵害に遭ったら...

掲示板などに、自分の名誉を毀損したり、プライバシーを侵害したりする情報が掲載されていたときは、その運営者(管理者)に削除を求めることができます。

また、プロバイダやサーバの管理・運営者などに、情報の発信者の情報の開示を請求したり、情報の削除を依頼したりすることができます。

開示請求や削除依頼は、証拠として保存するためにも、電子メールや文書で行いましょう。

削除を求めることが難しい場合などは、下記へご相談ください。

- 常設人権相談所 ☎ 0570-003-110 (全国共通)
- 津地方法務局人権擁護課 ☎ 059-228-4711
- 津地方法務局伊賀支局 ☎ 0595-21-0804
- 人権・男女共同参画推進室 ☎ 63-7909

子どもに、危険性やモラル、マナーを教えてください

ネット上には、子どもたちにとっての危険がたくさん潜んでいます。しかし、わたしも含め、保護者の多くは、携帯電話が普及し始めた当時すでに大人であったため、子どもにとっての危険性を十分認識できていない人も多いのではないのでしょうか。

「友達に携帯電話を持っているから」などの理由で簡単に持たせるのではなく、まずはネット上には有害情報があふれていることや、友達づくりのサイトや、ゲームサイトからも、見知らぬ人と会う約束ができてしまうなど、そこから犯罪被害に遭う危険性もあることを十分認識する必要があります。

こうした危険性を子どもたちに伝えるとともに、モラルやマナーを教えることが大切です。これは、ネット上の掲示板などへの書き込みが、直接相手の顔が見えないため、感情にまかせた悪口になってしまったり、匿名だからと無責任に不確かな情報を書き込んでしまったりということがあからずからです。

子どもたちが、携帯電話に依存した生活にならない、ネットいじめの被害者・加害者にならないように、わたしたち保護者は、これからも、子どもとしっかりと話し合うことが大切ではないのでしょうか。



人権・男女共同参画推進室 中平 健治

インターネットと人権

人権週間(12月4日(火)~10日(月))にちなんだ行事

人権週間特設人権相談所を開設します

近所のもめごと、家庭内の問題、いじめや体罰、職場でのセクハラなど人権侵害に関する相談に、法務大臣の委嘱を受けた人権擁護委員が応じます。相談は無料で秘密は固く守られます。

日時 12月11日(火) 午前10時~午後3時
場所 市民情報交流センター(希中央) ※ 申込不要

人権作品展

市内小・中・高・高専生、一般の人権標語・ポスター、写真を展示
日時 12月4日(火)~10日(月)
午前8時30分~午後5時15分
場所 市役所1階ロビー

人権週間街頭啓発

市内各大型店舗と名張駅、桔梗が丘駅周辺で啓発物品を配布
日時 12月4日(火)
午後4時30分~(一部午後2時30分~)

ふれ愛コンサート(入場無料・申込不要)

日時 12月9日(日) 午後1時30分~
場所 アドバンスコープADSホール(松崎町)
▼人権作品の表彰と朗読発表
▼バイマージン トーク&コンサート「天空へとどけ 大地の歌声」

バイマージンさんプロフィール

日本でただひとりのチベット人歌手として、チベットの音楽、文化、習慣などを紹介。「故郷の子どもたちに教育を!」と学校建設活動にも取り組む

